

「第三国定住を通して見える

難民支援の現場」



2016年7月14日(木) 16:40~18:10
共通講義棟2号館102室

講師: 中柴 春乃

(UNHCR中東・北アフリカ局第三国定住担当官)

シリアの内戦による難民は、トルコ、レバノン、ヨルダンなど480万人以上にのぼっています。
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) アンマン事務所で、シリア難民の欧米など第三国への定住支援に携わっている中柴さんをお迎えして、難民支援の現場について、ご講演をいただきます。



講演者プロフィール:

1995年お茶の水女子大学文教育学部卒業。
NPO2050非常勤職員、インドでのNGO調査などをへて、2004年東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。UNHCR職員として、バンラデシュ、ケニア、タンザニアなどで勤務。
バルセロナ国連大学客員研究員をへて2014年7月よりアンマン事務所勤務。

朝日新聞5/26朝刊11面「世界と私たち:難民」に中柴さんの仕事を紹介されています。



「グローバル文化学総論」受講者以外の学内関係者も参加可能です。
メールにて参加をお申込みください。

問合せ先: 文教育学部グローバル文化学環 global@cc.ocha.ac.jp tel:03-5978-5193